

～ ご参加の皆様へ お願い ～

- ・集合から解散まで統一行動となっています。
- ・歩行中は1列または2列で歩き、道路横断時などは交通安全に十分に気を付けていただき、急坂、石段などでは足元にご注意ください。
- ・果樹や野菜、植物などを採取しないでください。
- ・地元の方々のご理解・ご協力をいただき、神社や寺院などに伺いますので、失礼のないようにお願いします。
- ・ゴミは、各自お持ち帰りください。
- ・記録写真を撮る場合がありますので、ご了承ください。
- ・活動中の飲酒はご遠慮ください。

**感染拡大を防ぐため密閉、
密集、密接の三密を避ける
など、「新型コロナ」対策に
ご協力をお願いします。**

※中面の地図は国土地理院のWeb
地図を利用しています。

《 担当解説員：H班 》 土居秀夫・石崎健・満行光朗・高橋清樹

私たち市民解説員は、ふるさとあきる野を愛し、地域の自然・歴史・文化の再発見に努めるとともに、これらを市民の皆さまに紹介し、まちづくりと生涯学習の推進を図る学習ボランティアです。

あきる野市は、自然や遺跡、文化財の宝庫です。

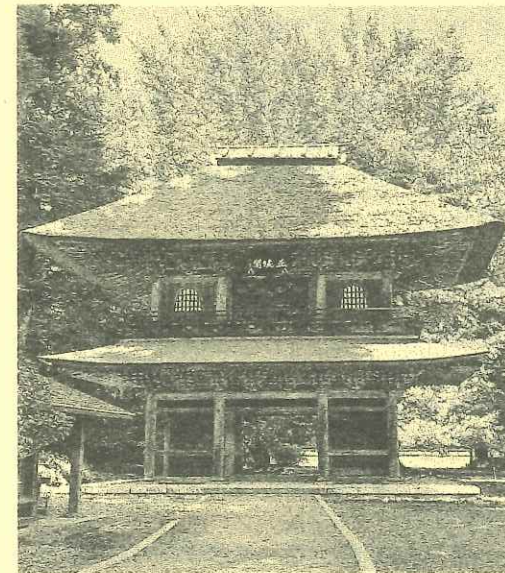
美しく恵まれた環境のもとで、地域の皆さまと一緒に学びあい、活動できることをうれしく思っています。

今後とも よろしく願い
いたします。

市民解説員が案内する市内探訪

秋深まる五日市

“黄葉と歴史の里”を訪ねて



廣徳寺の山門

【コース】

武蔵五日市駅 → 阿伎留神社 → 五霊神社 → 廣徳寺 → 佳月橋
→ 五日市郷土館 → 萩原タケ胸像 → 五日市憲法草案の碑
→ 武蔵五日市駅

令和2年11月28日(土)

あきる野市 中央公民館

① 阿伎留神社

※五日市 1081 番地

祭神：主神は大物主神（オオモノヌシノカミ）

創建：不詳

沿革：

- ・平安時代の延喜式巻九に武蔵国多摩郡八座の筆頭
 - ・源頼朝、足利尊氏、北条氏康が社領を寄進
 - ・徳川家康より社領 10石の朱印状ほか
 - ・文政 13 (1830) 年 12 月、大火で焼失
 - ・現社殿は明治 21 (1888) 年 1 月に再建
 - ・建造物：本殿(神明造)、拝殿(入母屋造)、鳥居(神明造)、社務所、神輿庫、手水舎等
- 市指定有形文化財：懸仏台盤、武州南一揆文書、年中十二祭神事絵巻



② 五霊神社

※小和田 257 番地周辺

霊神：鎌倉・三浦権五郎景政

沿革：懸仏裏面「廣徳寺守護・御霊大神社 三浦権五郎景政 是也 不知本体本尊 直降而擁護」

応永 27 (1420) 年 12 月 18 日

・大正 8 (1919) 年 10 月 15 日、石上神社とともに小和田・御嶽神社に合祀

市指定有形文化財：懸仏※合祀に伴って御嶽神社に移管、格納

③ 廣徳寺

宗派：臨済宗 建長寺派 ※小和田 234 番地

本尊：聖観世音菩薩 脇侍に不動・毘沙門の 2 軀

創建：応安 6 (南北朝時代 1373) 年 ※明徳 4 (1393) 年説有り

開山：建長寺七十世心源希徹禅師

開基：正応長者とその妻

中興の再開基：北条氏康

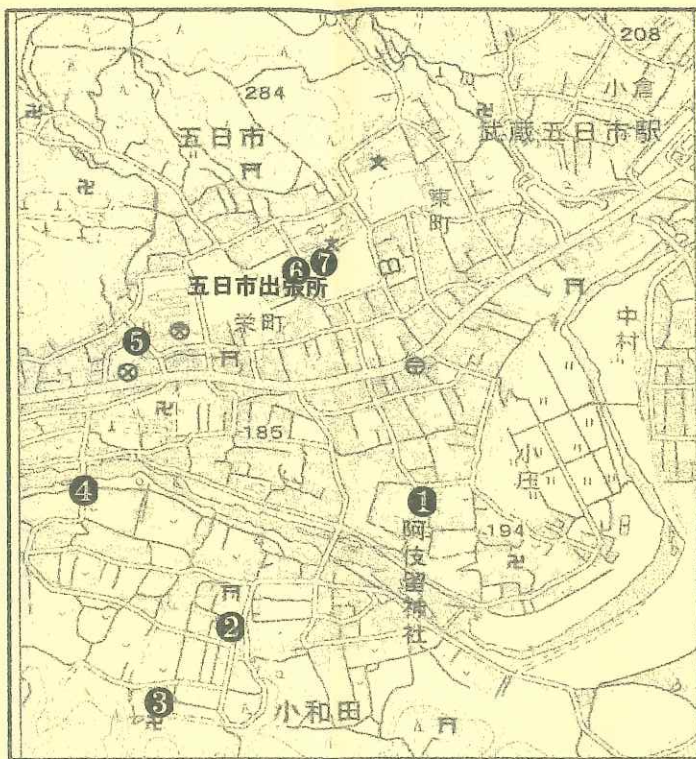
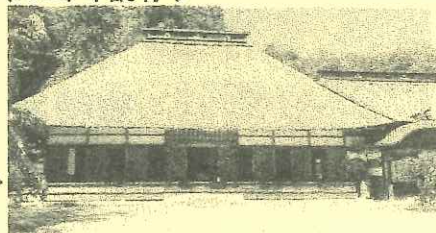
朱印：徳川家康より寺領 40 石の朱印状

市指定文化財：総門、山門、木造十六羅漢像、

聖観世音菩薩像、後北条氏虎印文書

市指定天然記念物：タラヨウ、カヤ

廣徳寺りんご：江戸時代にりんごを作り、江戸神田へ出していた(武蔵名勝図会)



④ 佳月橋

昭和 59 (1979) 年 3 月完成

- ・長さ 50m、巾 3m、高さ 5.65m
- ・佳月橋の名称は昭和 26 (1951) 年 5 月木橋架設の際に公募で決定
- ・2 代目木橋は昭和 57 (1982) 年 8 月に大雨で流失

金田一春彦歌碑

- ・本の形の石碑「いつか いちどは来たいと思うた 見ても見あきぬ あき川に」

⑤ 五日市郷土館

※五日市 920 番地 1

昭和 56 (1981) 年 11 月 5 日開館

- ・1 階展示室：山・里・川の暮らし、祭、化石 ※海獣「パレオパラドキシア」の上顎骨
- ・2 階展示室：五日市憲法草案、萩原タケ、黒八丈、あきる野市にゆかりの人々の紹介など

旧市倉家住宅

郷土館敷地内

- ・市内北寒寺地区に江戸時代末期からあった農家
- ・平成 10 年 9 月に市指定有形文化財、翌年 4 月に寄贈を受け、平成 12 年 12 月迄にかけて復元

構造：入母屋造りの茅葺、変形四間型

特徴：上屋根が上屋柱筋から出ている出桁造りの特殊構造

⑥ 萩原タケ胸像

五日市 411 番地 ※あきる野市役所五日市出張所敷地内

建立：昭和 60 (1985) 年 11 月 3 日

経歴：明治 6 年 五日市 68 番地に生まれる

明治 11 年 勤能学校入学 3 年間通学 優等賞受賞

明治 26 年 日本赤十字看護婦生徒として入学～明治 29 年卒業

明治 35 年 看護婦長として北清事変の功により従軍記章授与

明治 42 年 梨本宮夫妻の欧州旅行随員、ロンドンでの「看護婦国際会議」に出席

大正 9 年 第 1 回フローレンス・ナイチンゲール記章受章

⑦ 五日市憲法草案の碑

五日市 400 番地 ※五日市中学校敷地内

建立：昭和 54 (1979) 年 11 月 3 日 五日市憲法草案顕彰碑建設委員会

経緯：「五日市学芸講談会の同士並びに卓三郎ら明治の先覚者の功績を永く広めるため町民各位の協力により本碑を建立」

正碑：「五日市憲法草案抜粋」の条文

副碑：表面「建碑の辞」 裏面「五日市学芸講談会会員の名簿」